

**施設を退所した子ども・若者の明日を支えるために
AC3（かながわアフターケア3団体連絡会）**

中学・高校卒業を機に就職する児童福祉施設等で育った子どもは、施設を退所し、自立に向けて歩み始めます。しかし職場の人間関係や、金銭管理などで困っても相談できず、疲弊し、困窮することが少なくありません。

こうした子どもを支援する団体が連携し、それぞれの特色を生かしたサポートをしようと、昨年2月「AC3」（かながわアフターケア3団体連絡会）を結成しました。

「AC3」を構成する団体

あすなるサポートステーション

生活全般の相談に伴走型で対応。(福)白十字会林間学校が運営。県委託事業

よこはまPort For

居場所を開設。進学・就職など進路に関する相談が主。(N)ブリッジフォースマイルが運営。横浜市委託事業

(N)フェアスタートサポート

児童養護施設や定時制高校等の若者に特化した就職前、就職後の就労支援。共に運営する(株)フェアスタートでは、就職のあっせんも行う

AC3では、退所後に相談しやすくするために、施設在園時から



(N)フェアスタートサポートの永岡さんによる「自立に向けての講座」。「社会人の日中は職場にいる時間が大半。だから好きと思える仕事を選ぶことが重要」と説明。参加者は「職業興味検査」「性格検査」を体験

よこはまPort Forの吉原志麻さんは、施設退所者等が気軽に立ち寄り、仲間と出会う居

「困ったときは誰に相談するか決めておくなど、相談する練習はとても大事」と伝えました。

各団体の紹介で、あすなるサポートステーションの福本啓介さんは「お金が無い、住まいも失いそうだから、就職したけどやはり進学したいといった相談がありま

各団体と顔の見える関係をつくる必要と考え、来春退所予定の子どもを対象にイベントを開催(全3回)。第2回が7月24日に県社会福祉会館で開催され、6施設より高校1年から3年生の児童20名、職員7名が参加しました。



個別説明会でのよこはまPort Forのブース。レクリエーションを通じた仲間づくり「アトモプロジェクト」の様子や、アパレル等での職業体験等、雑談を交え話すスタッフに、子どもたちも笑顔を見せる

軽に立ち寄り、仲間と出会う居場所の様子を話すとともに、ソーシャルスキルを学ぶ「巣立ちプロジェクト」他、自立に向けたプログラムの情報提供をしました。

「長く働くために、やりたい仕事を見つけてほしい」と話しました。その第一歩を良いものにするためにフェアスタートを活用してほしい」と話しました。

個別説明会では、子どもがスタッフに質問し、利用のイメージを膨らませていました。

第3回は来年3月に開催。退所後の不安を受け止める場所と大人が施設以外にもあることを、子どもたちに改めて伝えます。こうした取り組みが、子どもたちが何かにつまずいても前に進める安心につながることに期待します。

(企画調整・情報提供担当)

平成29年度 福祉車両助成公募のお知らせ!! 公募による助成を行います。

- 応募資格 社会福祉法に基づく、第1種及び第2種社会福祉事業を行う社会福祉法人・財団法人
- 応募方法 ホームページからプリントアウトし、郵送にてお申し込みください。
- 応募受付期間 平成29年9月5日(火)から平成29年9月26日(火)【当日消印有効】

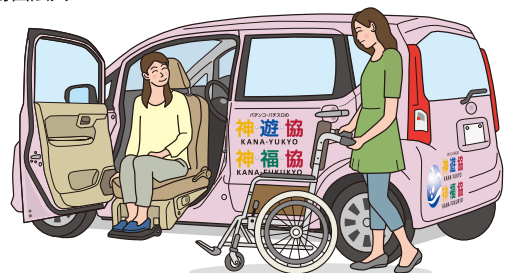
昭和60年以来264台を助成しております。

詳しくはホームページをご覧ください。

神奈川県遊技場協同組合 <http://www.kykk.com>
神奈川福祉事業協会 <http://www.kykk.com/fukushi>



神奈川県遊技場協同組合・神奈川福祉事業協会
〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町1-6-10 神奈川県遊技場協同組合会館



「福祉タイムズ」は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています